

各位

2003年3月14日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 鈴木弘治
 コード番号 8233

2003年2月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	4.4	1.6	+1日
横浜店	3.1	2.5	±0日
新宿店	1.1	0.5	±0日
関東9店計	1.3	0.2	
大阪店	1.8	1.7	+1日
京都店	4.0	3.5	+1日
関西9店計	2.1	2.5	
全店計	+0.0	1.0	
法人事業	16.8		
通信販売事業	39.1		
広域事業(店外)計	13.9		
合計	1.3		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台

関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	1.9
婦人服・洋品	1.4
子供服・洋品	2.3
その他の衣料品	17.1
衣料品計	3.0
身の回り品	4.7
家具	13.6
家電	39.6
その他の家庭用品	6.5
家庭用品計	11.0
食料品	0.9
食堂・喫茶	1.6
雑貨	1.3
サービス	19.6
その他	15.4
合計	1.3

概況

百貨店事業	<p>売上高は主力である衣料品の動きがやや鈍かったものの、営業日1日増(13店舗)に加え、前年のリニューアル工事による売場面積減の反動等もあり、全店計では3ヵ月ぶりに前年実績を確保した。</p> <p>店舗別では大阪店や京都店、新宿店、柏店(+9.0%)、堺店(+4.8%)等が牽引役となり、東京店、横浜店等の不振をカバー、全体としては西高東低の結果となった。</p> <p>商品別では婦人雑貨(+6.3%)、特選衣料雑貨(+1.2%)、食料品(+1.3%)等は好調に推移。一方、主力の婦人服(1.2%)は春物の動きが鈍くやや苦戦、紳士服(2.4%)、紳士雑貨(2.4%)、子供服・ベビー(2.4%)等も前年実績を下回った。</p>
広域事業	<p>法人事業は大口物件の受注増により前年実績を上回ったものの、通信販売事業は主力であるリビング関連等の不振で前年実績を大幅に下回った。</p>

以上